兵庫県南部地震による地盤の液状化

災害状況図

1995年1月17日5時46分に淡路島を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生し、地震の強いゆれでいたるところで地盤の液状化が発生したんだ。

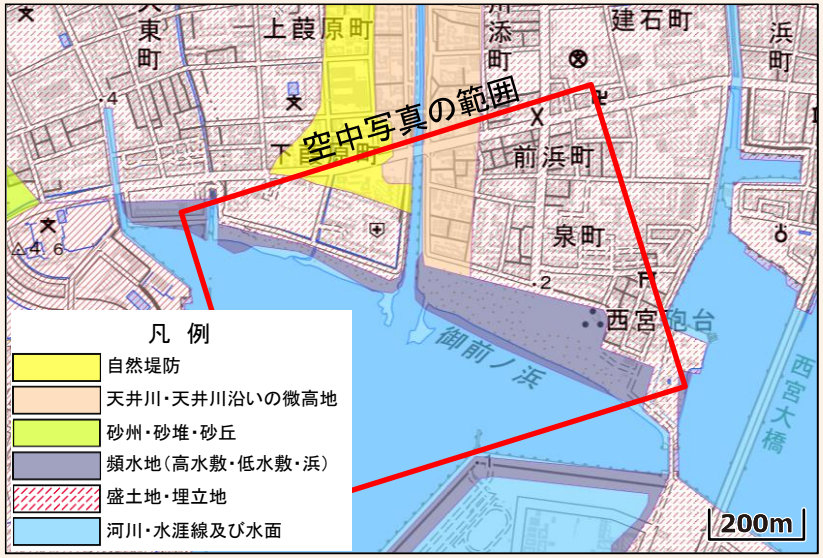
空中写真を見ると、河川や水路から土砂が海に流れ出ているのがわかるね。

土地条件図を見ると、海岸付近は砂浜や埋立地になっていて、川の両側は天井川沿いの高まりや自然堤防で高くなっているけど、その先は低い土地を人工的に盛り土しているね。

こういう土地は地盤が軟らかいから、液状化しやすく建物が倒れることもあるので注意が必要だよ。

空中写真　1995年1月17日撮影

土地条件図



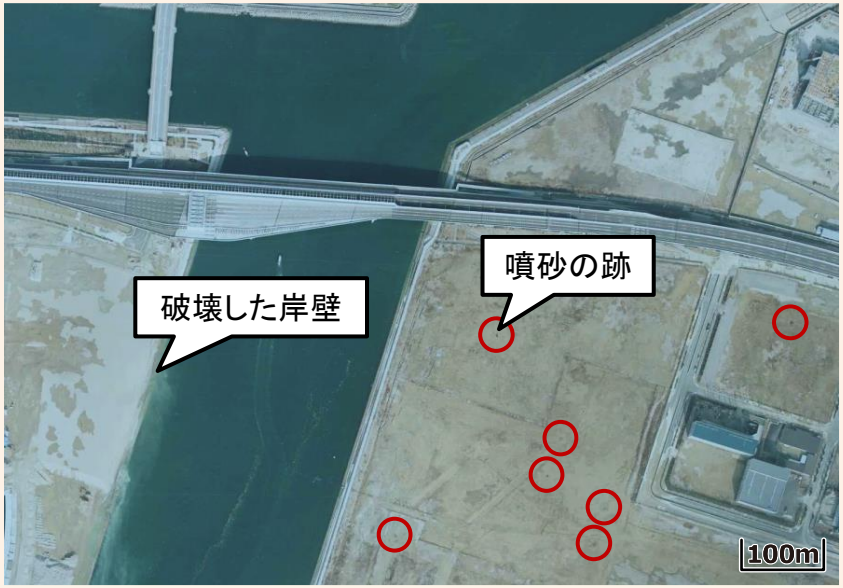
兵庫県南部地震による地盤の液状化

災害状況図

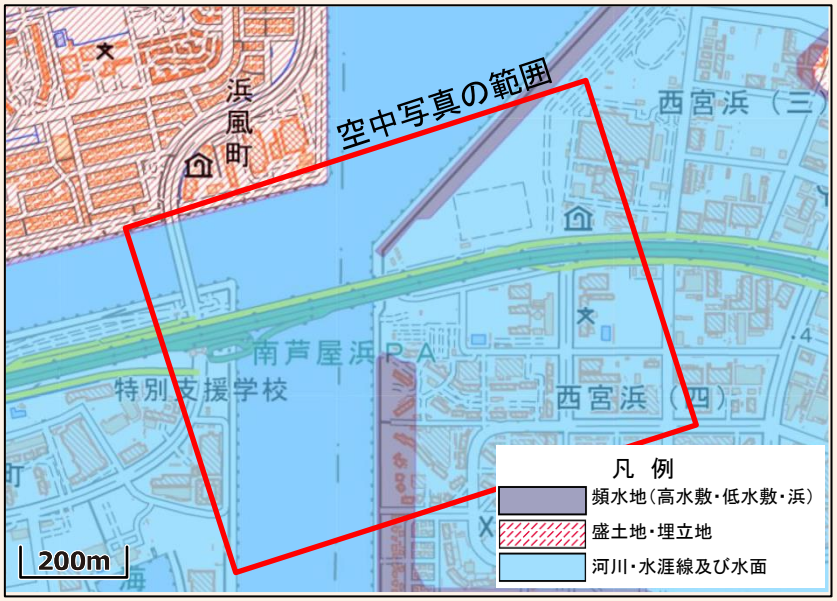
空中写真を見ると、ところどころに地下の砂が地表に噴き出した白い点が見えるよ。対岸の水が白く濁っているのは、岸壁が壊れて土砂が流れ出ているからだよ。

新しい埋立地は地盤が比較的軟らかく、地下水位も高いと液状化しやすいんだ。

空中写真　1995年1月20日撮影



土地条件図



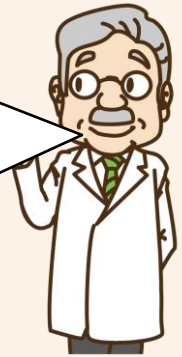
兵庫県南部地震による地盤の液状化

空中写真　1995年1月21日撮影

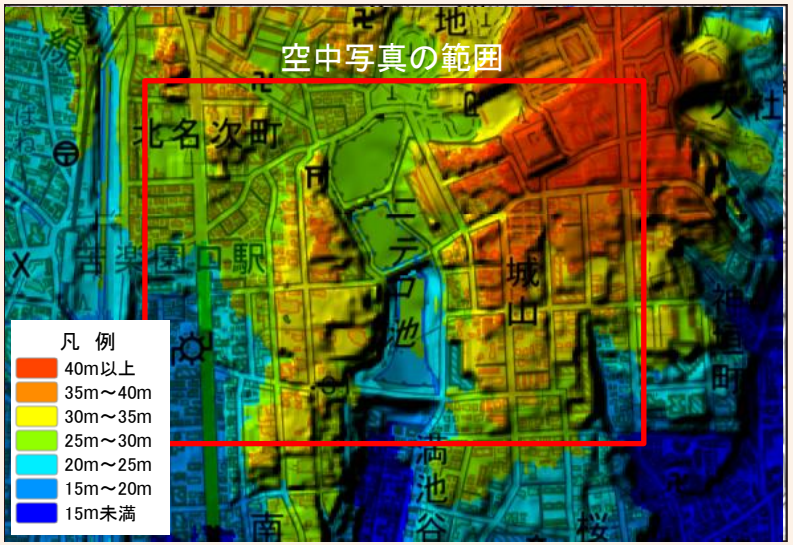
空中写真を見ると、中央のため池では周辺の盛土や池を区切る堤が崩れて土砂が池の中に流れ出しているね。

色別標高図を見ると谷を堰き止めて作られていることがわかるよ。周辺よりも低い地形のため地表面から地下水までの深さが比較的浅くなり液状化に注意が必要なんだ。

一番下の堤が壊れると土石流になって流れ出すから谷沿いに住んでいる人は注意が必要だよ。



色別標高図



土地条件図